

私たちは日本政府に核兵器禁止条約に調印し、批准することを求めます



岡山県原水協通信

2018年10月10日 No.456
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町4-25
TEL086-244-4526(F)/805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

“すごい” としてるね 頑張れ” と激励も

10月度第106回6・9行動



県原水協は10月9日、10月度6・9行動を行いました。岡山駅西口・さんすて前の行動には県労会議、自治労連、人権連、民医連、中尾代表理事、事務局から6名が参加しました。「これまでにいただいた800万筆を超える署名は、被爆者の代表が国連に届けるためにNYに向かいました」「禁止条約を批准する政府を作りましょう」と通行人に呼びかけました。視覚障害の方が「すごいことをしていますね。頑張ってください」と激励してくださりました。

真備 支援センターへ見舞金

日本原水協が全国に呼びかけ

7月の西日本豪雨災害に対して、日本原水協と2018年原水爆禁止世界大会実行委員会は全国の組織に対し「豪雨被災地に支援を、全国と世界の連帯で世界大会を成功させよう」というアピールを発表(7月12日)しました。国際会議宣言でも豪雨被災地の広島県原水協の世界大会開催のための奮闘に感謝と連帯が述べられています。

去る10月1日-2日に開催された日本原水協第324回常任理事会で全国から寄せられた「救援見舞金」が岡山県原水協の平井事務局長に託されました。10月6日、真備町に開設されている「災害対策・被災者支援岡山県連絡会」の伊原事務局長に見舞金を手渡しました。

伊原事務局長は「全国の仲間の皆様のご厚意に感謝し、被害者支援に有効に活用させていただきます」と話していました。(写真・支援センターの伊原事務局長に全国からの見舞金を渡す平井事務局長 10/6 倉敷市真備町)

